

## 栄養のバロメーター

栄養不足への各国の対策を測定する

### 【要約】

#### 2012年 ～決定的に重要な年～

2012年、栄養改善の取り組みは、まさに正念場を迎えています。

5月には、世界保健機関の総会において、2025年までに発育障害の子どもの人数を40%削減するという目標値を含む、妊産婦及び乳幼児の栄養に関する決議が採決されました。アメリカ合衆国オバマ大統領は、G8首脳、アフリカの国々の首脳、そして、民間セクターと共同で、「食料安全保障及び栄養のためのニュー・アライアンス」を発足させました。さらに、オリンピックまでもが、栄養改善に光をあてました。2012年のロンドン五輪大会の閉会式に先だつて、英国のキャメロン首相とブラジルのチメル副大統領が、栄養改善にとって歴史的な意義を持つ首脳会談を共催したのです。このサミットでは、次回のリオデジャネイロ五輪大会までに発育障害の子どもの人数を2500万人削減することにつながる取り組みを提示し、世界保健機関総会の定めた2025年を期限とする野心的な目標の達成に向けて、2016年を重要な布石と位置付けました。

栄養不足という静かな危機に対して、国際社会の関心が高まっていることは、歓迎すべきことです。しかし、この問題はあまりに長く見過ごされてきました。途上国に住むすべての子どもたちの3人に1人は、発育障害に苦しんでいます。発育障害は子どもの認知・身体的潜在能力に取り返しのできない悪影響をもたらす、生涯にわたって健康状態と教育面での成果、また、経済生産性を低下させます。子どもの健康状態に関するその他の多くの指標で近年改善が見られるのとは対照的に、発育障害の子どもたちの割合は改善の進度があまりに遅く、実際に消耗症(急激な体重減少)の子どもたちの割合は過去10年間で増加しています。

「栄養改善拡充のための取り組み」や、国連事務総長の「女性と子どもの健康のための世界戦略」、また、「栄養改善のための1000日パートナーシップ」などの取り組みにより、ミレニアム開発目標4(5歳未満児の死亡率改善)及び5(妊産婦の健康改善)を達成するために、栄養改善がどれほど重要であるのかという認識が高まりつつあります。昨年、「女性と子どもの健康のための世界戦略」に関するコミットメントの進捗報告書は、栄養への関心の低さを特記し、見過ごされている分野と評しました。私たちは今、栄養不足の危機への注目、及び、その危機に取り組もうとする政治的意志の高まりをとらえて行動する好機に直面しています。より多くの子どもたちに、生まれながらに持っている可能性を十分に発揮できるよう成長する道を開くチャンスなのです。

### 進捗を測る

セーブ・ザ・チルドレンとワールド・ビジョンは、栄養改善に向けた近年の進捗を評価し、また、世界保健機関総会が定めた発育障害に関する野心的な目標を2025年までに達成するため、必要な取り組みを洗い出すべく、共同で「栄養のバロメーター」を作成しました。バロメーターは、世界中の栄養不良の子どもの90%を抱える36か国について、各国の栄養改善への政治的意志、及び、資金的コミットメントの概要を示すことで、女性と子どもの健康改善に関する国家の説明責任を向上させようとする他の取り組みを補完するものです。バロメーターが明らかにしているのは、多くの国が、栄養改善を政治的な優先課題と位置づけ、そして、そのためのコミットメントを実

施するという状況には至っていないという事実です。

栄養のバロメーターでは、国々の栄養改善へのコミットメントを2つの側面から測定しています。第一に、栄養不足を改善するための、法律、政策、その他の国家レベルでの施策に注目します。第二に、コミットメントを実施するために、政府が配分している資金を監視します。そして、低体重、発育障害、消耗症の子どもたちの割合に関する統計から、子どもの生存及び栄養状態に関する成果を測定します。栄養不足が子どもの死亡原因の3割に達しており、バロメーターではさらに、対象となる国々のミレニアム開発目標4(2015年までに5歳未満児死亡率を1990年の水準の3分の1までに減少する)の進捗状況にも注目しています。

バロメーターでとりあげた国々はすべて、今も継続して深刻な栄養不足の問題を抱えています。その上で、36か国の中では、グアテマラ、マラウイ、そして、ペルーが最も大きく状況を改善しています。この3か国は、いずれも、コミットメントのレベル、そして、子どもの栄養及び生存に関する成果もともに優れた値となっており、この傾向は同じグループに属する他の国々にも共通しています。コンゴ民主共和国、インド、イエメンは、状況が最も改善しておらず、コミットメント及び成果もともに低い値となっています。

調査対象となった大半の国々で、栄養不良への取り組みの進捗は、政治的意志を反映しています。しかしながら、エチオピアのように、コミットメントにおいては高い評価を得ながらも、成果が追いついていない国々もありました。このことは、コミットメントが実際に施策として実施され、さらにその施策の成果が出るためには、時間がかかるという事実を現しています。また、栄養に関する指標について、定期的なモニタリングを行う必要があることも、示唆しています。

一方で、フィリピンのように、コミットメントの評価は低いものの、高い成果指標をあげているように見受けられる国々もあります。これは、経済成長、家計収入の増大、そして、その他の社会政策により、人口全体の栄養状態が改善した結果と考えられるでしょう。

### 今、求められていること

バロメーターでとりあげたすべての国は、今後長期の取り組みを継続する必要があります。

コミットメントを法制化することは、人々が政府に説明責任を問うことを可能とし、また栄養改善に適切な資金が長期的に動員されるための土台となるでしょう。

栄養のバロメーターは、栄養改善に向けた政治的意志のレベルが、達成される栄養改善の成果の大きさと比例することが多いことを示していますが、必ずしもそうでない場合もあります。栄養状態の改善が進むためには、強力な栄養改善戦略が、適切な資金的・人的資源と長期的な政治的意志に支えられて、完全に実施されることが不可欠なのです。各国の栄養改善戦略の定期的な評価・見直し、透明性、及び、情報へのアクセスが向上することにより、栄養状態を改善するための各国政府の取り組みに関する説明責任は著しく強化されることでしょう。市民社会はこの説明責任のプロセスにおいて、鍵となる役目を担っています。

## 提言

看過できない水準となっている慢性的な栄養不足と乳幼児死亡率を反転させるためには、各国政府に対し、コミットメントを実行するよう働きかけることが、非常に重要です。栄養のバロメーターは、コミットメントを実行する各国の意向と意志を測定することで、栄養改善の取り組み拡充のための様々な既存の取り組みに寄与することでしよう。

許しがたい水準の慢性的な栄養不足を大幅に改善させるためには、世界保健機関総会の目標の期限年である2025年に向かって、我々が協調して努力していくことが必要です。2016年の五輪大会は、世界が正しい方向に向かって取り組みを進めているかどうかを確認する、重要な機会となるでしょう。

セーブ・ザ・チルドレンとワールド・ビジョンは、より多くの国々が栄養改善において指導力を発揮し、コミットメントを速やかに実行していくよう求めます。

国際社会は、栄養不足の原因と結果の双方に対応するこの好機を無駄にすることなく、以下を行うべきです。

●国家の栄養改善計画は、実施に必要な予算が明確化され、また、栄養状態の改善及び発育阻害の削減に関する国家・地域レベルでの目標値を含むものである必要があります。これらの計画は、さらに、最も貧しい子どもたちが裨益することを重視し、政府以外のセクターの責任である間接的な対策も盛り込み、そして、市民社会や他の関係者の意見も聴取して定期的に行われる(例:年次)評価のプロセスを定め、しっかりしたモニタリングの枠組みを伴っていることが求められます。

●栄養改善に向けて大きな課題を抱える国は、栄養改善のための直接的な対策と、それらの対策を実施するために必要な保健システム強化(人的資源を含む)のための資金投資を増額し、かつ、維持する必要があります。

●国は、より良いデータを開示することにより、栄養改善戦略の透明性と説明責任を向上させる必要があります。国は、また、栄養指標にのっとり進捗状況のモニタリングを向上させるために、国民全体の栄養状態を把握するための定期的な調査が実施する必要があります。

●栄養改善に向けて大きな課題を抱える国々は、「栄養改善拡充のための取り組み」に参加する必要があります。さらに、「女性と子どもの健康のための世界戦略」と、「子どもの命を守るための世界的行動」の結果として最近発足した「あらたなる約束」の取り組みを通じた母子保健改善の取り組みに、栄養改善の取り組みを完全に統合して実施する必要があります。

●「栄養改善拡充のための取り組み」は、2012年末までに、各国が国家計画を実施するための費用の算出を完了する必要があります。一方、ドナーとその他の開発パートナーは、野心的な栄養改善戦略を実施するために必要となる資金を満たすことができるような、長期的な資金コミットメントを行う必要があります。

●ドナーはこれまでのコミットメントを完全に実施するとともに、2013年中の様々な機会において、栄養改善を支援するための明確な追加的コミットメントを行うことが求められます。